

志波城だより

～いにしへの風にあう～

Vol. 11 H24. 6. 25号

盛岡市教育委員会 発行

・担当 歴史文化課 (019)-639-9067

・発行 志波城古代公園 (019)-658-1710

みなさんこんにちは！今号で11号目とする「志波城だより」です。今年は天体ショーの当たり年。最近では金環日食がみられたり、太陽の前を金星が横切ったりと地球の上の私達を楽しませてくれています。前回、日本の広範囲で金環日食をみることができたのは今から932年前の平安時代でした。932年の月日は長いですね～



ちっちゃな疑問

いにしへの豆知識 坂上田村麻呂もビックリ!!?

昔の人達も体験したの？いにしへの天体ショー

冒頭でふれた金環日食。5月21日の日食は、みなさん、観察されましたか？1200年前の志波城の時代の人々はどのように日食を見上げたのでしょうか？

日本での日食の記録

天照大神の「岩戸隠れ」の神話は、天照大神が隠れてしまったという神話で日食を表している、という説もあります。古事記や日本書紀に登上する天照大神は太陽を神格化した神様です。歴史が始まって以来、日本で見られた日食は数多く記録に残っています。天文学発達以前は、天の警告・不吉なこととされていたようです。

☆歴史上記録に残っている日本での日食の例☆

◎ 628年4月10日(推古天皇36年3月2日): 部分日食
…日本で記録に残っている最古の日食。「日本書紀」の推古36年3月の条に「三月の丁未の朔、戊申に日、食大尽きたることあり」と記録があります。

◎ 975年8月10日(天延3年7月1日): 皆既日食
…「日本書紀略」に「975年8月10日、49辰の亥に皆既(午前7時に皆既)、太陽は星色の如くにて光無し。鳥の群れ舌を吐き、多くの星がすべて見えたり。天下に大赦を發布す。」と書かれています。〈参考文献: Wikipedia フリー百科事典〉

日本の首都で見られた史上初の皆既日食が「大事件」でした。朝廷は天下に大赦を發布して通常は対象にしていた死刑囚まで罪を減じたようです。いつもサンサンと光輝く太陽が突然姿を消すなんて恐ろしいことだったのでしょうか？

志波城 イベント 情報

平成24年度 志波城・古代の森づくり 植樹祭が

6月3日(日)に開催されました



本宮地区の街づくり集団「ゆいネット盛南」さんが主催で今回で4回目の開催。「植樹祭」は市民の皆様が植樹することにより、身近で愛される古代公園となるよう、また歴史や文化財に関する興味をもていただけるようにという思いで開催されました。今回は志波城古代公園マスコット「しまるくん」も参加。子供達に大人気でした。

6/3(日)当日は青空の下

谷藤市長をはじめ市民の皆様、街づくり集団ゆいネット盛南・イオン盛岡南店・盛岡商業高校写真部の方々など約100人が参加しました。

今回植樹した木はオオシマザクラ、オオヤマザクラ、イケモモ、ヤマブキなど全10種類110本を政府1区側に植樹。

植樹祭の様子は盛岡商業高校写真部の生徒さん達により撮影され写真はイオン盛岡南SCに近日中に展示される予定です。お楽しみに！

植樹祭終了後は岩手大学教育学部 井上教授と学生2名によりシックスドリリアリティの体験会が開催されました。

Qシックスドリリアリティって何？!

A 最新技術のGPSやセンサーを用いて目の前の景色とCGが融合された映像が現地に復元されていて、政府正殿・脇殿が目の前に合成されて見えるんだ!! 9/2の志波城まつりでも体験できる予定です。



※「志波城だより」は志波城古代公園活用事業の一環として発行しております。